TOKIO MARINE Topics（物流関連速報）

【続報】パナマ運河の通航制限による物流への影響

TOKIO MARINE GROUP
To Be a Good Company
東京海上日動火災保険株式会社
（2023 年 10 月 2 日）

大西洋と太平洋を結ぶパナマ運河が深刻な水不足を受け、長期にわたり船舶の通航制限をしています。本号では、2023 年 8 月 22 日号でお伝えしたパナマ運河の通航制限による混雑状況について続報をお伝えします。

1. パナマ運河とガトゥン湖の干ばつ

パナマ運河はスエズ運河と違い丘陵地帯に立地しているため、閘門（こうもん）及びパナマ運河のために作られた海抜 26mの人造湖ガトゥン湖との標高差を利用し、大量の淡水は放出しながら船を上下させ通航させています。

例年乾季に水不足が発生していますが、パナマ運河では今年 2 月以降、段階的に水不足を理由に通航する船舶の隻数、喫水ともに制限してきました。

ガトゥン湖の水位は 9 月現在 24.2m で、昨年度同時期の 26.6mを下回っています。パナマ運河庁（ACP）は声明の中で、現在進行中の干ばつは「歴史上前例がないレベル」と述べています。

パナマ運河の様子（写真：AP/アフロ）

2. 海運への影響

北米の穀物輸送では、パナマ運河を通航する前に積み込まれるミシシッピ川流域でもバージの滞船が発生しています。主に石炭や穀物を運ぶ中型ばら積み船や、LPG（液化石油ガス）を輸送する VLGC（大型 LPG 船）のスポット（随時契約）の用船料も上昇しています。

3. 運河の滞船状況

既報の通り、通航許可隻数を最大 32 隻に制限する制限は依然として続いています。8 月 18 日、ウォール・ストリート・ジャーナル（WSJ）は、「パナマ運河の両端の入り口の船舶の滞船は 200 隻に達している」と報じましたが、9 月 5 日、パナマ運河庁（ACP）によると滞船は 108 隻と前週の 135 隻から 20%減少し、「この時期としては平年並み」とコメントしています。しかし、今後ホリデーシーズンに向け物流のピークシーズンを迎えるため、商品の動きが加速すればさらなる混雑につながる恐れがあります。

上記情報につきましては、あくまで現時点での状況をご報告するものです。最新情報を常にご確認いただきたく、どうぞよろ しくお願いいたします。

◇◆

【出典】パナマ運河庁 HP　https://pancanal.com/

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。

マリントピックス　バックナンバー